

英語科 3年

20歳の自分に英語で手紙を書こう

担当 三村 洋平

【活動の目標】

20歳の自分に向けて、未来を創造し内容を考察したり、スライドを用いて Show and Tell の手法で発表したりする活動を通して、英語で手紙を書くことができる。(思考・判断・表現)

【 問 い 】

- ・5年後の自分はどこで何をしているだろうか想像させ意見を促す。
- ・単元のゴールに向けて、どのような表現を使うと相手は興味を引くか。

今回 ICT を活用した場面	単元活動 (6 時間扱い)
<ul style="list-style-type: none"> ・英語での下書きは、クラスルームでクラス内で共有を図った。(1 時間) ・20歳の自分へ手紙を書く前に、スライドを作成し、show and tell で発表を行った。(2 時間) ・完成したスライドについてもクラスルームのドライブに保存をさせて、お互いに見れるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ①内容を考える (教科書) ②考えを整理する (CB) ③スライドを作成する (CB) 2 時間 ④Show and Tell で発表 ⑤20歳の自分に向けて手紙を書く <p style="text-align: right;">2028年1月 郵送予定 (同窓会があった場合は手渡し)</p>

【資料】



【ICT 機器を活用する良さ】

- 写真を用いることにより、発表するときの補助になり、聞き手の興味を引くことができる。
- スクリーンで共有できるので、生徒に振り返りの時に内容を理解しやすい。
- 印刷をする必要がなく、スピード感をもって言語活動をすることができる。

【改善すべき点と原因および改善案】

- この課では間接疑問文と原形不定詞が言語材料となっていたが単元の1時間目での扱いが曖昧だった。
- 一人一人の学習状況を見極めながら、引き続き個に応じた支援を継続していく。

